



1	①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の方法、成績評価の方法等の説明)、政党政治について説明する。 ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、成績評価の方法について説明を行い、政党政治について復習する。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習 (120分) 教科書『新編 現代政治過程』第8章「政党」を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習 (120分) 授業を振り返り、授業の目的と到達目標を確認する。
2	①授業テーマ 圧力団体と圧力政治 ②授業概要 圧力団体発生の要因を理解し、圧力団体と政党の相違について比較する。また、日米の圧力団体の特徴について理解を深めることを目的とする。 C1,D1,E1,J1,K1 ③予習 (120分) 教科書『新編 現代政治過程』第九章「圧力団体・市民団体」を読み、事前に事前に学習ノートをとる。 ④復習 (120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
3	①授業テーマ 選挙と投票行動① (選挙) ②授業概要 今日において、多くの国では、政治的リーダーは選挙で選ばれる。ただし、国によって選挙制度は異なる。それに関連して、日本やイギリスなどの選挙制度を学び、選挙の機能や投票の方法について理解を深めることを目的とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習 (120分) 配布した世界の選挙事情に関する資料や教科書『新編 現代政治過程』第四章「選挙制度」を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習 (120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
4	①授業テーマ 選挙と投票行動② (投票行動) ②授業概要 人びとの投票行動と選挙の行方の関係や投票行動を規定する要因を把握し、投票行動の理論について理解を深めることを目標とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習 (120分) 教科書『新編 現代政治過程』第四章「選挙制度」を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、通読する
5	①授業テーマ 現代政治とマス・メディア ②授業概要 民主政治は世論の政治とも言われる。その世論を形成していく大変重要なアクターはマス・メディアである。ここでは、事例を取り上げて、マス・メディアと政治の関係などについて理解を深めることを目的とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習(120分) 教科書『新編 現代政治過程』第十一章「マスメディア」を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、通読する。
6	①授業テーマ 地方自治と民主主義 ②授業概要 地方自治制度は、地域民主主義を健全化させ、住民福祉を促進させるものである。ここでは、地方自治体と中央政府の関係や地方自治と民主主義の関係に関する知識を学ぶことを目的とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習 (120分) 事前に配布した地方自治制度の関係資料を読み、学習ノートをとる。 ④復習 (120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、読解する。
7	①授業テーマ 全体主義体制 ②授業概要 個人主義や民主主義を否定し、個人のすべてを全体に従属させる政治体制である。ナチスドイツなどはその類である。ここでは、事例を取り上げて、全体主義体制の特徴などについて理解を深めることを目的とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習 (120分) 教科書『新編 現代政治過程』第十三章「グローバリゼーションのなかの中国」および事前に配布した全体主義の関係資料 (北朝鮮) を読み、学習ノートをとる。 ④復習 (120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、読解する。
8	①授業テーマ 権威主義体制 ②授業概要 民主主義体制と全体主義体制の中間領域にある権威主義体制も非民主主義的な政治体制である。1960年代以降登場した発展途上諸国における国家主導型経済開発と強権政治を組み合わせた「開発独裁」も権威主義体制の一形態である。ここで、権威主義体制の特徴、権威主義と全体主義の特徴的な相違について理解を深めることを目的とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習 (120分) 教科書『新編 現代政治過程』第十三章「グローバリゼーションのなかの中国」および事前に配布した権威主義 (韓国) の関係資料を読み、学習ノートをとる。 ④復習 (120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、通読する。
9	①授業テーマ 行政国家と官僚政治 ②授業概要 政府介入の増大によって、現代国家を「行政国家」化した。こうした現象の進展により、政策の制定などは官僚機構に依存するようになる。ここでは、官僚政治の台頭と問題点について理解を深めることを目的とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習 (120分) 教科書『新編 現代政治過程』第十章「政治家と官僚」を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習 (120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、通読する。
10	①授業テーマ 日本の官僚制度の変遷と日本政治 ②授業概要 日本の高度経済成長に寄与した官僚制度に関する歴史の変遷、特徴、それから政策形成過程への影響について理解を深めることを目的とする。 C1,D1,E1,J1,K1 ③予習 (120分) 教科書『新編 現代政治過程』第五章「官僚制」を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習 (120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し、通読する。
11	①授業テーマ 主権国家と国際政治理論 ②授業概要

	ドイツ30年戦争を終結させたヴェストファリア条約によって、主権国家体制を確立した。現在200を超える主権国家によって構成される国際社会はさまざまな問題を抱える。それらの問題発生の原因を説明しようとするのが国際政治理論である。ここでは、国際政治理論の類型および内容について習得することを目的とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習（120分） ヴェストファリア条約など関係資料を読み、学習ノートをとる。 ④復習（120分） 授業を振り返り、講義ノートを整理し、通読する。
12	①授業テーマ 戦後の国際政治①冷戦の起源と拡大 ②授業概要 第二次世界大戦後、冷戦二極構造という特殊な国際システムは米ソをはじめとする東西両陣営の対立を持続させた。ここでは、東西冷戦の発生原因及び過程について理解を深めることを目的とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習(120分) 事前に冷戦に関係する資料を調べ、学習ノートをとること。 ④復習（120分） 授業を振り返り、講義ノートを整理し、通読する。
13	①授業テーマ 戦後の国際政治②冷戦の終焉と地域紛争 ②授業概要 冷戦後、イデオロギー対立によつての国家間の緊張関係が大幅に緩和されたが、国際社会が新たな危機－民族浄化を含む地域紛争に直面している。ここでは、地域紛争の発生原因を追究することを目的とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習（120分） 事前に旧ユーゴスラビア紛争やルワンダのジェノサイドに関する資料を調べ、学習ノートをとる。 ④復習（120分） 授業を振り返り、講義ノートを整理し、通読する。
14	①授業テーマ 戦後の国際政治③アメリカの対テロ戦争 ②授業概要：2001年9月11日、アメリカで起こった同時多発テロ事件によって、冷戦後に、形成されつつある新たな世界秩序を変え、国際社会に大きな不安を与えた。今日もテロ事件が後をただないため、テロは人類社会にとって最も脅威の一つとなっている。ここでは、テロ発生の原因やテロリズムの類型などについて説明することで、テロ対策を考えることを目的とする。C1,D1,E1,J1,K1 ③予習（120分） 事前に9・11事件やイスラム国を調べ、学習ノートをとる。 ④復習（120分） 授業を振り返り、講義ノートを整理し、通読する。
15	①授業テーマ 総括 ②授業概要 14回の授業の学びを総括し、期末試験を行う。C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) フィードバックの方法：出題意図や試験問題の解答要点などを説明する。 ④復習（120分） 講義ノートを整理し、14回分の授業内容を確認し通読する。 ④復習（120分） 期末試験問題と関連して、自己点検および反省点をまとめる。
関連科目	政治学 1 (RMGT/SSCS 1139)
教科書	秋山和宏、照屋寛之 編著『新編 現代政治過程』三和書籍 2022年第一版第三刷、ISBN978-4-86251-317-5
参考書・参考URL	佐々木 毅『政治学講義』東京大学出版会、2012、ISBN 978-4130322225 川出良枝ほか『政治学』東京大学出版会、2012、ISBN 978-4130322195 ジョン・L・ガティス『冷戦－その歴史と問題点』彩流社 2007、ISBN 978-4779112713
連絡先・オフィスアワー	連絡先 開講時に告知します。 オフィスアワー 金曜日11：00～12：30 それ以外の時間については、メールにて相談したうえで対応します。
研究比率	

